

南会津 のうりんニュース



今月の写真：「芝桜」(下郷町中山地区)

大内宿から南方の中山集落近くに「花の郷公園」があります。平成12年度に整備された「芝桜の丘」は、白色と桜色の鮮やかなコントラストが大変きれいで、訪れる人の目を楽しませてくれます。

芝桜以外にも四季折々の花が楽しめる場所です。

今月の内容：

- 今月のトピックス
 - ・ 南郷トマト生産組合が
環境保全型農業推進コンクールで優秀賞受賞!!
 - ・ 「NPO法人はいつと」が東北農政局長賞を受賞!!
 - ・ 森林セラピー講演会を開催!!
 - ・ 平成18年度農業普及事業外部評価懇談会開催される!!
 - ・ 緑のふるさと協力隊員が活動報告!!
- 特集!!
山地災害の危険信号
- 集落営農推進情報
南会津町田島地区で2集落が集落営農をスタート!!
- 人事異動のお知らせ

平成19年4月20日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

南郷トマト生産組合が環境保全型 農業推進コンクールで優秀賞受賞!!



全国環境保全型農業推進会議主催の第12回環境保全型農業推進コンクールで、南郷トマト生産組合(組合員数129人)が、最高賞に次ぐ優秀賞(全国農業協同組合中央会会長賞)を受賞しました。

この賞は、環境保全型農業の確立を目指した取り組みをとおして、農村環境の保全や地域社会の発展に貢献している個人や団体を表彰するもので、同組合の実践する全組合員によるエコファーマー取得をとおした減農薬、減化学肥料の取り組みや生産履歴の記帳、雪室等の地域資源を活用した環境への配慮などが高く評価されました。

去る3月13日には、山形市において表彰式が行われ、南郷トマト生産組合長の馬場孝法さんとJA会津みなみ西部地区営農課長の星晴博さんが代表で出席しました。表彰式終了後には事例報告が行われ、馬場組合長がスライドを使用した報告を行いました。

近年、安全安心な農産物が注目されている中で、南郷トマト生産組合のこのような取り組みは非常に模範的・先駆的な取り組みであり、これからも地域や県をリードする産地として活躍が期待されます。

(農業普及部)

「NPO法人はいつと」が 東北農政局長賞を受賞!!

平成18年度地産地消優良活動表彰事業において、「NPO法人はいつと」(南会津町)が東北農政局長賞を受賞し、去る3月20日に、南会津町役場の町長室において、授与式が行われました。

地産地消優良活動表彰は、地産地消活動を行っている団体等のうち、特に地域の個性を活かした創造性かつ将来性があると認められた団体が受賞するもので、県内からは、「NPO法人はいつと」(南会津町)及び「つしま活性化企業組合」(浪江町)の2団体が受賞しました。

「NPO法人はいつと」は、平成16年5月に設立され、地元在住者を対象とした料理教室の開催や地域

(2ページに続く)



(1ページから続く)

農産物を積極的に活用した郷土食レストランを会津田島祇園会館にオープンするなど、郷土料理を通じた食文化の継承等の活動が評価され、今回受賞されました。

この受賞を機に、今後もこれまでの活動を継続し、より一層地産地消の推進が図られることが望まれます。「NPO法人はいいと」の皆さんおめでとうございます。

(地域農林企画室)

森林セラピー講演会を開催!!

森林療法による“癒しの里づくり”に向けて、地域が一丸となって取り組んでいこうとする気運を高めるため、去る3月6日に「南会津地方森林セラピー研究会」主催により、平成18年度南会津地方森林セラピー講演会が開催されました。

当日は、福島県もりの案内人、観光協会、宿泊業者、NPO法人など県内各地から約80名が参加しました。



講演会では、森林セラピーの第一人者である、東京農業大学の上原巖(うえはら いわお)先生を講師に、「南会津における森林療法の可能性を考

える」～全国各地の森林療法の取り組み事例を参考として～という演題で基調講演を行ったのち、参加者との意見交換会を行いました。

上原先生からは「南会津地方の森は、落葉広葉樹と針葉樹のバランスのとれた混交林で森林療法に適している。地域が一丸となり、できることから少しずつ森林療法の取り組みを進めて欲しい。」とのアドバイスがありました。講演後、会場からは約10名の方から質問があるなど、参加者の森林療法に対する興味が伺えたとともに、今後南会津地方で森林療法を進めていくうえで大変参考になる講演会となりました。

今回の講演会をきっかけに、南会津地域全体が一丸となり、森林療法の取り組みが前進することが望まれます。

(地域農林企画室、森林林業部)

平成18年度農業普及事業外部評価懇談会開催される!!

第2回農業普及事業外部評価懇談会を、去る2月16日に県南会津合同庁舎で開催しました。この懇談会は、平成17年度から始まったもので、農業に関係しない南会津地域の有識者5名で構成し、農業普及事業の活動成果等について評価・提言を行うものです。

湯田会長及び五十嵐農業普及部長のあいさつの後、普及課題「農業・農村を担う経営感覚に優れた担い手の育成」及び「南会津の環境と調和した安全・安心な農業推進」について担当職員からスライドを用いた説明が行われ、懇談会で評価・検討が行われました。

懇談会委員からは、融雪剤に対する疑問や農業への新規参入者へのフォロー対策、有害獣対策等の様々な質問があり、また「地産地消で大切なのは売り方」、「集落営農に対する小規模農家等への説明が足りない」等の意見・提言があり議論がなされました。

その後、各委員から提出された意見書を基に、3月15日に湯田会長から鈴木農林事務所長に評価報告書が提出され、今後、これら貴重な提言を基になお一層農業普及活動に取り組むこととしました。

なお、懇談会結果については、詳しくは農林事務所ホームページをご覧ください。

(農業普及部)



緑のふるさと協力隊員が活動報告!!

去る3月8日、「緑のふるさと協力隊員意見発表会」が福島市で行われました。

「緑のふるさと協力隊員」とは、NPO法人地球緑化センターが行う事業で、主に都市部に在住する青年を1年間山村地域に派遣し、地域おこしイベントの支援や農作業などのボランティア活動に取り組んでもらうものです。平成18年度、福島



(左)糠谷さん、(中央)佐々木さん

県内には7名の隊員が派遣されていました。

南会津町伊南地域で活動していた糠谷直輝さんと佐々木真希さんも意見発表会に出席し、「農業の楽しさや難しさを学んだ。地域づくりに携わることができてよかった。」「女性のパワーが大きいと思った。ライスセンターでは、日本の食糧供給の原点を見たようで感動した。」「直売スペースを設けてはどうか。」等、活動の感想や地域への提言を発表しました。

隊員のお二人は、1年間の派遣の中で、山村地域ならではの暮らしの良さをたくさん感じたようでした。都市部の視点から見た新しい魅力が、今後の地域づくりに活かされることが期待されます。

(農業振興部)

山地災害の危険信号

南 会津農林事務所管内では、798箇所（平成18年10月現在）の山地災害危険地区があります。集中豪雨を始め、近年の異常気象等により、災害の発生予測は大変難しい判断となります。災害から尊い人命・財産を守るため、日頃からお近くの沢や自宅の裏山の状況を知り、災害に備えましょう。

山崩れなどの危険信号を見つけたら 町村役場・南会津農林事務所に連絡ください。

南会津農林事務所（森林土木グループ）
電話 0241-62-5381



身近で起こる山地災害
平成19年2月7日土砂災害発生（金山町小栗山地区）

山地災害の危険信号を見逃すな！

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察すると、多くの場合、危険信号を発しています。

- (1) ふだん澄んでいる沢や井戸の水が濁ってきた。
- (2) 川が濁り、水かさが増し、流木が混ざりはじめた。
- (3) 雨が降り続けているのに川の水位が急に下がった。
- (4) 山腹面から石が転がり落ちてきた。
- (5) わき水の量が急に増えた。
- (6) 今まで溜れたことのないわき水が止まった。
- (7) 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が出来た。
- (8) 地鳴りの音が聞こえてきた。

※土石流（山津波）は、通常時速20～40kmです。熊本県水俣市では時速70kmを観測した例もあります。

集落営農推進情報

南会津町田島地区で 2集落が集落営農をスタート!!

南 会津町黒沢集落で3月11日、そして大豆渡（まめわた）集落で3月24日に、田島地区では初となる営農改善組合（農用地利用改善団体）が設立され、本格的な集落営農へ向け活動が始まりました。

黒沢集落は、農事組合長で本組合の設立準備会でまとめ役を務めた星孫次さんが組合長となり、8名の役員体制を組み、集落内農家35戸と集落外



黒沢営農改善組合設立総会

からの耕作者7戸を合わせて、42戸の組合員で組織化されました。

また、大豆渡集落も農事組合長で本組合の設立準備会でまとめ役を務めた星忠明さんが

組合長となり、14名の役員体制を組み、集落内農家58戸と集落外からの耕作者3戸を合わせて、61戸の組合員で組織化されました。



大豆渡集落営農説明会

両集落の集落営農は、遊休農地の活用や農地の維持管理対策を当面の活動として取り組み、最近薄れている集落の「結いの精神」を取り戻し、今後担い手となる人たちを集落みんなで支え合える元気なむらづくりを目指しています。

この2集落の取り組みが、周辺集落への良い刺激となり、今後の田島地区集落活性化のモデルとして大いに期待されるそうです。

（農業普及部）

人事異動のお知らせ

4月の人事異動により20名が転出し、19名が新たに配属となりました。

転入者

所属	氏名	旧所属	ひとことPR
●企画部 (地域農林企画室)	五十嵐 明	総務部財務領域	18年ぶり2度めの南会津勤務です。どうぞよろしくお願ひいたします。
	曾我由紀子	新採用	皆さんに教えていただきながら、向上心を持ち頑張ります。
	吉田 淳	農村整備領域	南会津地域の良さを満喫し、地域発展のために微力を尽くします。
●農業振興部	加藤 政樹	森林林業領域	生まれは福島市。初めての南会津です。よろしくお願ひします。
	石本 敏樹	県北農林事務所	最近の体重増によりアゴの線がホリエモンに似ていると言われます。
	橋口 敦	新採用	初めての南会津にワクワクしています。よろしくお願ひします。
●農業普及部 (南郷普及所)	増子 良一	田村農業普及所	農歌を作って弾き語りもやっております。よろしくお願ひします。
	伊藤 恵造	会津坂下農業普及所	若松出身ですが、初めての南会津です。よろしくお願ひします。
	滝澤 和志	経営支援領域	南会津の農家のみなさんの力になれるよう努力します。
	室谷 朝子	農業総合センター	難しい地名が多くて覚えられるか心配ですが、頑張ります。
●農村整備部	渡部 俊一	会津農林事務所	念願かなって2度目、19年ぶりです。よろしくお願ひします。
	宍戸 潤一	農林総務領域	15年ぶりの南会津勤務です。恩返しができるように頑張ります。
	芳賀 善信	会津農林事務所	よろしくお願ひします。
	菅野 栄蔵	会津南部は場整備事務所	2回目の南会津です。春夏秋冬、楽しみにしています。
	橋本 一樹	県南地方振興局	雪深し 山里深し 人心 渴く心に 染み入るぬくみ …頑張ります。
●森林林業部	渡部 昌俊	県中農林事務所	憧れの南会津です。家族みんなで楽しみたいと思います。
	渡辺真紀夫	相双農林事務所	8年ぶりに南会津に帰ってきました。
	松岡 武史	いわき農林事務所	初の会津勤務となります。よろしくお願ひします。
	石井 篤	いわき農林事務所	初めての南会津ですので、仕事も雪も楽しめるよう頑張ります。

転出者 (カッコ内は転出先です)

●企画部	近内(会津高等技術専門校)、高畑(会津保健福祉事務所)、中村(生産流通領域)、遠藤(会津児童相談所)
●農業振興部	稲本(林業研究センター)、蓬田(農村整備領域)、長尾(医科大学派遣)
●農業普及部 (南郷普及所)	松本(生産流通領域)、穴澤(喜多方農業普及所)、瀧田(相双農林事務所)
●農村整備部	高津(農業短期大学校)
●森林林業部	後藤(庸)(福島県土地改良事業団体連合会派遣)、後藤(裕)(農業総合センター)、磯目(会津農林事務所)、長岡(農村整備領域)、渡部(会津大学派遣)
	山河(会津農林事務所)、小沼(林業研究センター)、渡辺(森林林業領域)、藤田(会津農林事務所)



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています
この広報誌は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。